

## アイデア提案書

提案番号	No.18-6		
提出年月日	平成30年8月27日	受付年月日	平成30年8月27日
所属		職名・氏名	
提案件名	全庁共通窓あき封筒の作成について		
提案の要件	<input type="checkbox"/> 市民サービスの向上に役立つもの <input checked="" type="checkbox"/> 事務能率が向上するもの <input checked="" type="checkbox"/> 経費の節減・収入の増加に資するもの <input type="checkbox"/> 行政事務運営の革新となるもの <input type="checkbox"/> 本市のイメージアップに係るもの <input type="checkbox"/> その他公益上有効であるもの		
関係部署	宛名住所氏名をシステム印字された文書を送付する部署		
現状及び問題点	<p>(実施の必要性について具体的に)</p> <p>庁内を見渡すと、多くの業務がシステム化されており、出力される文書に宛名(住所、氏名等)がシステムから印字されているものを多く見かけるが、それが十分に活用されているとは言い難い。</p> <p>その理由として、システムごとに宛名の印字位置が異なっているため市販の窓あき封筒が適合しないこと、少量の文書の発送のために窓あき封筒を購入すると不経済となること等が考えられる。</p> <p>一例を挙げると、毎年1月に送付する源泉徴収票は、会計課が源泉徴収票を打ち出し、源泉徴収を行った各担当部署が様々な方法で郵送している。宛名がシステム印字されているため、窓あき封筒で発送している部署もあれば、広告封筒に宛名シールを貼ったり、手書きで宛名を書いたりして発送している部署もある。</p> <p>せっかく宛名がシステム印字されているにもかかわらず、宛名シール貼りや、宛名を手書きする unnecessary な労力が発生している。封入ミス of 危険性もある。</p>		
提案の内容	<p>(実施の方法について具体的に)</p> <p>全庁共通窓あき封筒を導入して窓の位置を規格として定め、今後改修するシステムから宛名の印字位置を揃えて宛名がシステム印字されている文書は全庁共通窓あき封筒で発送できるようにする。</p>		
期待される効果	<p>(効果について数量等を具体的に)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文書発送の労力及び作業時間が短縮できる。(紙折りと封入のみすればよい)</li> <li>封入ミスの防止。</li> <li>全庁共通窓あき封筒を市で一括購入することで、発送数が少ない部署でも使用が可能になる。購入単価が下がる効果もある。</li> </ul>		
担当課検討結果	期待される効果として挙げられているもののうち、まず、封入ミスの防止については一定程度認められるものの、天地又は裏表の逆入れのリスクは依然と		

して残るものと思われ、いずれにしても確認作業は必要となると考えられる。

次に、労力や作業時間の短縮については、どの程度の件数が予定されているのか明らかにされておらず、さらには全庁共通とのことであるが、こういった種類の郵送物が共通化できるのか、また、システム改修等が必要になった場合の経費などについても不明であることから、費用対効果を直ちには判断しがたい。

なお、財政係で調査した結果、平成29年度中に、少なくとも9課において窓あき封筒を作成している。本提案についての実施の可否を判断する前に、これらについて共通化しているのか、また、差出人の表示を含めて共通化できるのかといったことを検討の上、極力システム改修等の経費が発生しない状態での運用を期待して、今回については不採用としたい。

(共同提案者)

\*\*\*\*\*係 \*\* \*\*\*\*\*

提案事項審査報告書  
(アイデア提案用)

提案番号 No.18-06	所属	職名	氏名
------------------	----	----	----

提案件名 全庁共通窓あき封筒の作成について
--------------------------

問題意識	創造性	有効性	効率性	費用対効果	具体性	実現性	合計 (総合評定)
4.0点	2.9点	4.0点	3.9点	3.7点	4.3点	3.8点	26.6点

優秀賞

## 【意見】

- ・ 共通化を行うことは費用面からも事務量から効率的と考えられるが、それに伴うシステム改修が必要か否かでコスト面での効果に対する評価が異なると思われる。また、共通にすることのデメリットとしては、封筒の色で郵便物の認識を行っている市民の声を聞いたことがあるため、単独部署で全く封筒が作れないということは課題になる可能性があると感じる。
- ・ 担当の意見を聞いて難しいなと思いましたが、ぜひ実現できればな～と一番に思った。寄附の封筒は課名を記入する様式なので、市役所全体の課名を印刷し、チェックボックスにチェックを入れるような形にしたら、少しは時間短縮につながるのかな～と。ただ、課名が変わると毎年印刷の変更が必要になりますが。
- ・ 共通の窓あき封筒の作成は、システム改修等の経費が不明ではあるが、事務効率の向上については効果があると思われるため、引き続き検討していただきたい。
- ・ 費用対効果は高いと思われます。
- ・ 現状を踏まえると全庁共通化にすることによって不要な発注や部署名変更にも対応できる。また、封入ミスの防止や宛名シールの作成、宛名の印字等の作業も省略化でき、作業時間の短縮や効率化にもつながると思います。
- ・ 業務量削減につながりうる提案であり、担当課で指摘された費用対効果の面、差出人の共通化の可否等、課題についてもまずは提案として採用されたうえで、議論を進めていってはどうかと考えます。
- ・ 残業時間削減、働き方改革といっても、業務量が減らなければ実現が難しい部分もあるかと思えます。
- ・ 宛名書き、シール貼りなどはせつかくシステムで印字できるのならば、少しでも省力化を図るべきではないかと考えます。
- ・ また、封入ミスの防止についても、封入作業の自動化ができないかといったことまで含めて、コスト面でどこまで負担があるかなど、単純事務作業の削減に向けた調査、検討を進めていくべきではないでしょうか。
- ・ まずは、業務の省力化、自動化に向けた端緒として、本提案の議論を進めていくべきではないかと考え、提案としては採用されるべきであると考えます。
- ・ 必要である。国庫負担との兼ね合いもあるので、より経済的な方法を検討していきたい。
- ・ 実際に、源泉徴収表の送付等に窓あき封筒を使用すると宛名確認の必要がなくとても便利だったので導入してほしいです。機構改革等で、課や係の名称変更もあるため、広告封筒のように住所のチェック欄と所属課・係の判子を押せる場所があれば便利だと思いました。